平成○年度　役割分担表

機能	目指す拠点の姿	振り返りの視点	次期５か年で取り組むこと	平成○年度行動計画・達成目標（法人の役割）	H○年度進捗	H○年度振り返り 実際に取り組んだこと・取り組めなかったこと	平成○年度行動計画・達成目標（法人の役割）	平成○年度行動計画・達成目標（行政の役割）	H○年度進捗	H○年度振り返り 実際に取り組んだこと・取り組めなかったこと	平成○年度行動計画［・達成目標（法人の役割）］
親子の居場所Ｐ１	① 利用する人を温かく迎え入れる雰囲気がある。	○利用する人を迎え入れるための配慮、工夫をしているか。	【法人】 ●最寄駅からの道路が道幅が狭く、交通量が多く危険なので、利用者が来館しやすいようにする。例えば、利用者に同行し、サポートするボランティアを育てる。								
		○利用者の間に交流しやすい雰囲気ができているか。	●入館制限時の対応を工夫する。（具体的には・・6月、7月、8月のあっとどろっぷに明記。）								
			●利用者への対応についてのスタッフの研鑽								
			【区】 ●こんにちは赤ちゃん事業を通じた周知								
	② 世代、性別等を超え多様な養育者と子どもが訪れる場所になっている。	○多様な養育者と子どもを受け入れる配慮、工夫をしているか。	【法人】 ●妊娠期の方や年齢の上がった（3歳以上）子の養育者にも、訪れてもらいやすい工夫 ●多様な養育者の来館により把握される多様な支援ニーズに対応するために、関係機関との情報交換やネットワーク関係づくり ●同じニーズ、共通課題を持つ親同士のつながりづくり 【区】 ●多様なニーズをつなげる先である関係機関とのネットワークづくりの支援 ●認知度に比べて利用率が低いこと踏まえ、拠点の利用に結びつくような対象者への周知方法の工夫（再掲） ●こんにちは赤ちゃん事業を通じた周知（再掲）								
		○父親、祖父母等の利用があるか。									
	③ 子どもにとって安全な環境（防災・防犯・衛生・事故防止）が確保されている。	○リスクを減らし、安全性を確保する取り組みがされているか。	【法人】 ●ヒヤリハット経験者をより減らしていくための安全管理対策								
		○事故や災害発生時の対応についてルールづくり、訓練がされているか。	●安全に利用するため、また公共の場であることを踏まえ、施設の利用方法、おもちゃの使い方などのルールを、スタッフから利用者に伝えていく。								
		○衛生管理が適切に行われているか。	●開所前の想定を超えて0～2歳児の利用が多く、年齢にあったおもちゃが少なく、改善する必要がある。								
	④ 親（保護者）がくつろいで過ごせる環境が確保されている。	○大人が過ごす空間への配慮がされているか。	【法人】 ●親の作品展示など、親自身が自己表現し、情報交換のきっかけとなるような空間の創出。 ●父親向けの座談会や公園遊び等の実施 ●利用者との信頼関係を構築し、利用者が子育てのつらさを吐き出せ、本当にリラックスできる場の雰囲気づくり ●親が子どもを遊ばせながらリラックスできる企画の実施								

平成○年度　役割分担表

機能	目指す拠点の姿	振り返りの視点	次期５か年で取り組むこと	平成○年度行動計画・達成目標（法人の役割）	H○年度進捗	H○年度振り返り 実際に取り組んだこと・取り組めなかったこと	平成○年度行動計画・達成目標（法人の役割）	平成○年度行動計画・達成目標（行政の役割）	H○年度進捗	H○年度振り返り 実際に取り組んだこと・取り組めなかったこと	平成○年度行動計画 [・達成目標（法人の役割）]
親子の居場所P２	⑤ 子育て支援ニーズ把握の場になっている。	○ニーズを把握するための工夫、仕組みがあるか。	【法人】 ●利用者からニーズ発信ができるようなしくみ（情報交換ノート、意見箱の設置など）の導入 【区及び法人】 ●拠点の利用者以外の当事者からのニーズ把握（就労家庭など） ●解決につながっていないニーズについて、解決に向けた取組を継続								
		○把握されたニーズが共有され、解決につながっているか。									
	⑥ 親（保護者）自身が親として育ち、また子どもが育つ場となっている。	○子どもの年齢、月齢に応じた遊びの環境が整備されているか。	【法人】 ●2歳児～3歳児位の子どもの発達に合わせた遊びを、親子で経験するグループ遊びの実施 ●子育てを振り返るために、居場所の中で、親としての意見を導いていくように、スタッフがファシリテーター役となるよう努めていく。 ●子どもの遊び、食育等の育児に関して、各家庭で実践できるように、モデル的に実施していく。								
		○子ども同士のかかわりを尊重したスタッフのかかわりができているか。									
		○親自身の学びの場になっているか。									
	⑦ 親同士がささえあう状況が育っている。	○利用者の間に交流しやすい雰囲気ができているか。（再掲）	【法人】 ●利用者が、親子ボランティアなどの形で、親同士のささえあいへの関りの度を深めることに伴い、一方でその人の子どもの遊びを保障することが必要となることから、拠点の居場所にいる中で、利用者同士で相互に子どもを見合う仕組みづくりに取り組む。								
		○利用者同士が相談、情報交換し、課題解決しあう仕組みや仕掛けがあるか。									
	⑧ 子育て居場所企画運営に利用者が積極的に参画している。	○利用者が居場所企画運営に参画する仕組みや仕掛けがあるか。	【法人】 ●結成された自主グループが当事者を支えていくような目的で活動していけるよう支援していく。								
		○さまざまな参画者が、各々の得意分野を生かせているか。									
	⑨ 子育て居場所企画運営に地域のボランティアが積極的に参画している。	○ボランティアの受け入れを行っているか。	【法人】 ●ひろばで活躍しているボランティアを地域の活動につなげていくようにコーディネートしていく。 ●親子、学生、シニア等様々なボランティアが情報交換し、ボランティア活動の成果を感じることができるように交流会を設置する。 【区】 育成したボランティアが地域や他の事業の活動につながるように、地域の支援者や区役所内に呼びかけをしていく。								
		○ボランティアが居場所企画運営に参画する仕組みや仕掛けがあるか。									
		○ボランティアが、各々の得意分野を生かせているか。									
		○ボランティア数が増えているか。									

平成○年度　役割分担表

機能	目指す拠点の姿	振り返りの視点	次期５か年で取り組むこと	○年度目標 （法人の役割）	H○年度進捗 1（未達成）→5（達成）	H○年度振り返り 実際に取り組んだこと・取り組めなかったこと	平成○年度行動計画 ・達成目標（法人の役割）	平成○年度行動計画・達成目標 （行政の役割）	H○年度進捗 1（未達成）→5（達成）	H○年度振り返り 実際に取り組んだこと・取り組めなかったこと	平成○年度行動計画 ・達成目標（法人の役割）
子育て相談	①　無料に育児に関する相談ができる場となっている。	○相談者とスタッフとの間に安心して相談してもらえる信頼関係ができているか。	【法人】 ●相談の解決が難しくなるのを予防するために、問題発生した初期の段階で、利用者が話しをできるような対応を継続する。 ●相談ニーズの傾向を区とともに把握し、ニーズに対応できるよう個別に相談対応する他、同じ悩みを持つ親同士のピアサポートグループづくりをする。 ●養育者のエンパワメント、専門的対応の視点から、スタッフの対応能力の向上を図る。 【区】 引き続き、把握した区内の相談ニーズや相談対応に使用できる情報等の提供をしていく。								
		○どのような相談に対しても傾聴し、相手に寄り添う相談対応ができているか。									
		○一定の相談実績があり、内容の傾向を把握し、対応が検討されているか。									
	②　無達、不適切な養育など専門的対応を要する相談を受け止め、関係機関に結びつけられている。また必要に応じて継続したフォローができている。	○福祉保健センター等関係専門機関との連携、連絡体制ができているか。	【法人】 ●連携先である専門機関の把握につとめる。 ●要連携ケースについて、なるべく早期に両者で対応を検討することができるよう、区とともに連携方法の再確認をする。 ●専門機関と、ケース引継ぎ後も両者が共通の対応ができるよう連携のしくみづくりをする。 【区】 ●連携が必要なケースの引継ぎの時期等について、早期対応ができる体制づくりを拠点とともに行う。 ●外国人家庭の個別支援のしくみについて、情報収集する等検討する。								
		○相談内容に応じて、専門的対応の必要性についてアセスメントできているか。									
		○専門機関へつなげるための必要な応対ができ、また継続したフォローができているか。									
		○専門機関との連携ケースに対応した実績があるか。									
	③　プライバシーに配慮した相談環境、対応が確保されている。	○プライバシーを守れる相談環境があるか。									
		○スタッフが守秘義務を遵守しているか。									
		○記録等の個人情報が保護されているか。									
	④その他										

平成○年度　役割分担表

機能	目指す拠点の姿	振り返りの視点	次期５か年で取り組むこと	平成○年度行動計画 ・達成目標（法人の役割）	H○年度進捗 1（未達成）→５（達成）	H○年度振り返り 実際に取り組んだこと・取り組めなかったこと	平成○年度行動計画 ・達成目標（法人の役割）	平成○年度行動計画・達成目標 （行政の役割）	H○年度進捗 1（未達成）→５（達成）	H○年度振り返り 実際に取り組んだこと・取り組めなかったこと	平成○年度行動計画 ・達成目標（法人の役割）
情報収集・提供	①　来所が困難な方も含めて、必要な情報を容易に入手できるようになっている。	○ニーズにあった情報が提供できているか。	【法人】 ●子育て情報以外の生活に関連する情報収集と提供を行う。 ●子育て家庭が情報を入手しやすいと思われる産科、小児科等の医療機関やコンビニ、スーパー等における、子育て情報ファイルの設置等の情報提供を行う。								
		○さまざまな媒体を活用した情報発信ができているか。									
		○拠点以外の場を通じて情報発信をしているか。									
		○利用者が、必要な情報を容易に選び出すことができるか。									
		○さまざまな子育て情報が拠点で入手できることが、区民に認知されているか。									
	②　地域における子育て情報が収集され、入手できるようになっている。	○地域における子育て情報の収集をする仕組みがあるか。	【法人】 ●地域の支援者が、拠点を通じて主体的に情報発信ができる仕組みづくりを行う。 ●情報が少ない地域について、地域の支援者等との連携強化、情報収集を行う。 ●自治会等からの地域情報の収集、発信を行う。 ●当事者の地域理解を促進のため、地区ごとの地域福祉保健計画をファイルに整理し設置する。 ●ココめ～る情報の内容の種類、範囲を拡大する。								
		○区内の幅広い地域の子育て情報が集まっているか。									
		☆子育て応援メールマガジンココめ～るの発信が活発にされているか。									
	③　利用者自身が、拠点を通じて情報提供できている。	○利用者自身が、拠点を通じて情報提供できる仕組みや工夫があるか。	【法人】 ●ココめ～るの他、さらに多様な媒体による子育て当事者による情報発信の機会、仕組みづくりを行う。 【区】 ●ココめ～るに子育て当事者が発信する情報を掲載する仕組みづくり（掲載基準の制定等）を行う。								
	④　情報収集、提供のしくみづくりに利用者が積極的に参画している。	○情報収集、提供の企画に利用者が参画する仕組みや工夫があるか。	【法人】 ●拠点利用者が企画、作成する利用者通信誌の発行を行う。								
		○さまざまな参画者が、各々の得意分野を生かせているか。									

平成○年度　役割分担表

機能	目指す拠点の姿	振り返りの視点	次期５か年で取り組むこと	平成○年度行動計画・達成目標（法人の役割）	H○年度進捗 1（未達成）→５（達成）	H○年度振り返り 実際に取り組んだこと・取り組めなかったこと	平成○年度行動計画 ・達成目標（法人の役割）	平成○年度行動計画・達成目標 （行政の役割）	H○年度進捗 1（未達成）→５（達成）	H○年度振り返り 実際に取り組んだこと・取り組めなかったこと	平成○年度行動計画 ・達成目標（法人の役割）
ネットワーク	①地域の子育て支援活動を活性化するためのネットワークを構築・推進している。	○子育て家庭のニーズを踏まえたネットワークづくりがされているか。	【法人】 ●「港北区子育ネットワーク会議」の分科会で具体的に取り組んでいる内容はネットワークを活用し、区内で実施か所を増やしていく。 ●ネットワーク推進にあたり、拠点、区、社会福祉協議会の役割を明確にしていく。 【区】 ●複数ある子育て支援関係の会議の目的を確認し、統合や整理ができないか検討する。 ●既存のネットワークと連携しながら港北区の子育てに関する課題の発見・解決に向け協働をしていく。								
		○地域の子育て支援関係者が、互いに知り合い、理解し、課題を共有するための場、機会、情報を提供できているか。									
		○地域の子育て支援関係者が、協力しあう関係となるためのコーディネート、仕掛けができているか。									
		○子育て支援の取り組みが地域全体へ広がっているか。									
	②ネットワークを活かし、地域の情報収集・共有、拠点利用者の地域へのつなげが出来ている。	○地域の情報収集・共有をする仕組みやリスト表があるか。	【法人】 ●ネットワークを活かしてより効果的に地域のサービスに利用者をつなげ、拠点利用者の過剰状況への対策にもつなげる。 ●拠点で集約する情報を、地域の子育て支援関係者へ提供する。								
		○拠点利用者を地域へつなげる仕組みやリスト表があるか。									
	③子育て関係者のネットワーク機能・推進、関係者による子育て支援活動が行われている。	○関係者が、互いに知り合い、理解し、課題を共有するための場、機会、情報を提供できているか。	【法人】 ●妊娠期からの子育て支援を実施していくための妊娠期の方のネットワーク化 ●動く親のグループ化 ●できているグループが地域で活動できるようコーディネートする。								
		○関係者が、協力しあう関係となるためのコーディネート、仕掛けができているか。									
		○関係を超えて地域の活動をつなげていく仕組みができているか。									

平成○年度　役割分担表

機能	目指す拠点の姿	振り返りの視点	次期５か年で取り組むこと	平成○年度行動計画・達成目標（法人の役割）	H○年度進捗 1（未達成）→５（達成）	H○年度振り返り 実際に取り組んだこと・取り組めなかったこと	平成○年度行動計画・達成目標（法人の役割）	平成○年度行動計画・達成目標（行政の役割）	H○年度進捗 1（未達成）→５（達成）	H○年度振り返り 実際に取り組んだこと・取り組めなかったこと	平成○年度行動計画・達成目標（法人の役割）
人材育成	[illegible]	○子育て家庭のニーズを踏まえた人材育成がされているか。	【法人】 ●預かりや移動時のサポートを必要としている子育て家庭のニーズが多いため、それに応える支援人材の育成を行う。 ●ひろばで活躍しているボランティアを地域の活動につなげていくようにコーディネートしていく。 ●社協と連携して人材育成を進める。 【区】 ●育成したボランティアが地域や他の事業の活動につながるように、地域の支援者や区役所内に呼びかけをしていく。 ●拠点が育成した人材を、区域全体の活動へコーディネートできるよう、拠点の支援（区のネットワーク活用等）、助言を行う。 ●拠点や社協と連携して人材育成を進める。								
		○地域の子育て支援に関する人材育成がされているか。									
		○地域の子育て支援に関する人材育成がされているか。									
		○地域の子育て支援に関する人材育成がされているか。									
		○地域の子育て支援に関する人材育成がされているか。									
	[illegible]	○子育て家庭のニーズを踏まえた人材育成がされているか。	【法人】 ●地域の子育て支援関係者に、区内の子育て家庭の状況や最新の子育て支援情報等について情報提供できる機会を企画する。 ●講演、研修の実施など、地域の子育て支援関係者が拠点を活用できる工夫を行っていく。 【区】 ●必要に応じて、人材育成研修実施に関する協力をする（講師派遣協力、参加希望者への周知、他機関との調整等）。								
		○地域の子育て支援に関する人材育成がされているか。									

平成○年度　役割分担表

機能	目指すサポートシステムの姿	振り返りの視点	次期5か年で取り組むこと	平成○年度行動計画・達成目標（法人の役割）	H○年度進捗 1（未達成）→5（達成）	H○年度振り返り 実際に取り組んだこと・取り組めなかったこと	平成○年度行動計画 ・達成目標（法人の役割）	平成○年度行動計画・達成目標 （行政の役割）	H○年度進捗 1（未達成）→5（達成）	H○年度振り返り 実際に取り組んだこと・取り組めなかったこと	平成○年度行動計画 ・達成目標（法人の役割）	平成○年度行動計画・達成目標 （市社協の役割）	H○年度進捗 1（未達成）→5（達成）	H○年度振り返り 実際に取り組んだこと・取り組めなかったこと	平成○年度行動計画 ・達成目標（法人の役割）
子育てサポートシステム	子育てサポートシステムに、多くの地域の人の参画が得られている。	○地域の人に子育てサポートシステムについての周知ができているか。													
		○会員（提供・利用・両方）数拡大に向けての取り組みがなされているか。													
		○会員を継続していただけるよう、会員間の交流会や研修会等が開催できているか。													
	利用者等の預かり、送迎などの支援ニーズを、必要とされるとき円滑に援助活動につなげている。	○会員（提供・利用・両方）のニーズに合わせた丁寧なコーディネートができているか。													
		○援助活動開始後に活動実績の把握や会員（提供・利用・両方）の声を聞きながら、必要な調整をしているか。													
	[illegible]	[illegible]													
	援助活動の調整等を通じて、相談した支援ニーズを、地域住民による支援につなげているか。	[illegible]													
		[illegible]													
	[illegible]	[illegible]													
		[illegible]													
	各種情報に即座に対応できる体制づくり														